

『第3回長崎大学医学部5年生と県内研修医・若手医師の大交流会』を開催しました！

1月23日(金)、新・鳴滝塾主催による「第3回長崎大学医学部5年生と県内研修医・若手医師の大交流会」を開催しました。同交流会は、学生と研修医・若手医師の交流のきっかけをつくり、親睦を深めて長崎の研修病院の魅力を知ってもらおうという目的で開催しており、今回が3回目。会場となったにっしょうかん新館 梅松鶴には長崎大学医学部5年生が約100人、県内の研修医・若手医師が約130人、スタッフ医師も含めて総勢240人を超える方々がご参加くださり、大変盛り上がりました。ここでは、交流会の様子をレポートいたします。

17:30 到着時の様子



17:50 開会

司会進行は長崎大学病院医療教育開発センターの指導医、宮本俊之先生と研修医1年次の中山宗郎先生です。



長崎県内の研修病院を紹介子。



会場の様子。



参加者全員で恒例のウェーブ！

来賓挨拶では医学部長の下川功先生が登壇。「5年生にとっては若い先生たちの声を聞く大変貴重な機会を作ってくださいました。ここにお集まりのみなさんは10年後の長崎県の医療を支えていく人たちです。この機会に親交を深めてください」と呼びかけました。



長崎県福祉保健部 医療人材対策室長の村田誠氏からは「しっかり勉学に励み、長崎に残って未来の医療を支えてください」とお言葉をいただきました。



参加者全員での写真撮影。



乾杯の挨拶は長崎大学病院研修医1年次の森田修平先生。

新鳴瀬塾交流会



乾杯！

長大のいいところは、
たくさんの同期と一緒に
勉強できることです！

乾杯の音頭をとった森田先生



各病院の研修医から一言ずつのアピールタイム

佐世保の中心部にある病院です。今年、研修室が新しくなりました！



佐世保市立総合病院
江崎 裕幸先生

離島ですが、普通の市中病院と変わらないほど研修環境に恵まれています。



五島中央病院
秋本 訓秀先生

研修医は少ないですが、その分たくさんの症例を経験できます。



佐世保中央病院
村田 和樹先生

島原半島の患者さんを一手に引き受けている病院です！



島原病院
中島 聡先生

医局の垣根がとても低く、いろいろな経験をさせてもらっています。



諫早総合病院
谷口 育洋先生

ヘリポートがあるので長崎中どこからでも患者さんがきます。



長崎医療センター
本石 裕也先生

ご飯が美味しい済生会病院♪ 研修環境がどんどん充実してきています！



済生会長崎病院
高木 博人先生

新しいキレイな病院です。救急外来の当直はとても勉強になります。



長崎みなとメディカルセンター市民病院
谷口 育昌先生

日本赤十字社の病院です。どこに行くにもアクセスがよいのでとても便利です。



長崎原爆病院
大野 純希先生

18:30 会食・歓談の様子



20:45

最後は5年生の総代である小嶋恵理子さん、
向井順哉さんによる閉会の挨拶。
「先生方の熱い気持ちが伝わってきました！」と
笑顔で締めくくっていただきました。



20:50

交流会は大盛り上がりのうちに終了。
「まだまだ話し足りない！」ということで、2次会へ向かった人も多かったようです。
開催にあたり、ご協力くださった皆さまに感謝を申し上げます。本交流会のためにお時間を割き、
また遠方からお越しいただき、誠にありがとうございました。
最後に5年生のみなさん、今日は参加していただき、ありがとうございました。

主催：長崎県 新・鳴滝塾
協力：長崎大学病院
医療教育開発センター